

病に罹り
余命幾ばくも
無い私は

何故なら
其の者には

ああ
確かに治せるのう

わしの「尿」には
命を延ばす
効能がある故な

飲みたいか?
ホレホレ

藁にも縋る
思いにて

この地に住まう
妖の元へ向かった

……じゃが
タダではやらん

一つ
条件がある

条件?
わかった!

内容くらい
聞け阿呆!

命の危険はない
らしい

これ
がつつく
でない
重め

こぼすなよ

ならば
背にば
代えられぬ

飲まなければ
私は死ぬのだ

半刻じゃ

これを飲んだ後
半刻
貴様の時間を頂く

その間
わしの命令には
絶対服従……

それで構わぬなら
存分に飲むがよい

丁度
出そうじゃし

直が一番
効能が高い

ほれ
すぐに身体に
変化が出るぞ

!



さて...では
約束も果たして
もらうとしよう
かのう...



思ったとおり
いい感じの
童になりおったの!

ほうほう!
元服直前
といたところか



気付くと私は
若返っていた

身体に
活力が漲る...
若返りと共に
病も
消え去ったようだ



この妖:
私を慰み者と
する気か

よいぞ小僧

そのまま綺麗に
舐め尽くすのじゃ

久々の
わし好みの童
食わぬわけには
いかぬわ

さつさと
勃たせよ
たわけ者!

命令は絶対じゃ

なんと卑劣な...
だが約束故
逆らえぬ...!

ほれ
挿れるぞ



もう
限界...!

っ...!

わしにっ
合わせ
あっ

絶対服従だから
しょうがない
耐えるしかない
仕方ない



まだっ...
射精しては
ならんぞ

もう少し...





